

日台ビジネス交流会及び Computex2015 見学会

6月4日～5日の2日間、10協会、総勢41名のANIA関係者が台湾企業との交流やComputex視察のために台湾・台北市に集まりました。

6月4日(木)

昨年、ANIAとMOUを締結した中華民国情報サービス産業協会(CISA)が主催する交流会とComputex主催者でもある台北市コンピュータ協会(TCA)のComputex見どころツアーが重なってしまい、各々分かれての参加となりました。

(1) 中華民国情報サービス産業協会 日台ビジネス交流会

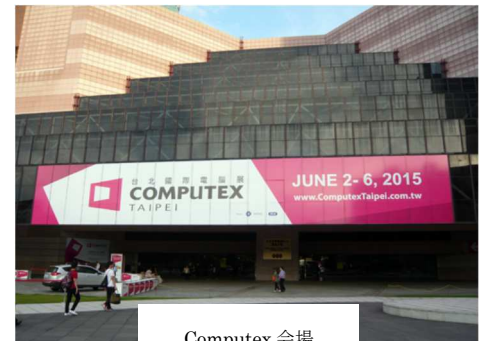
基調講演として台湾IoT分野とビッグデータの商機や4G応用の台湾スマートライフなど今話題のテーマについて台湾の現状などをお聞きしました。午後は日本、台湾の企業からのプレゼンテーションを行った後、個別商談会を実施しました。懇親会では台湾式の「おもてなし」である恒例の大カラオケ大会も始まり、商談の中にも大変賑やかで楽しいひと時を過ごしました。



CISA 交流会

(2) 台北市コンピュータ協会 Computex 見どころツアー

総来場者数13万人、海外からは160か国、38000人が来場するアジア最大といわれる展示会。会場も広く、目的意識をもっての見学が大変重要です。しかし、時間も限られる事からTCAの方をお願いをして、今年の見どころ、ポイントを解説してもらいながら会場を案内していただきました。午後はその情報をもとに各自自由見学です。

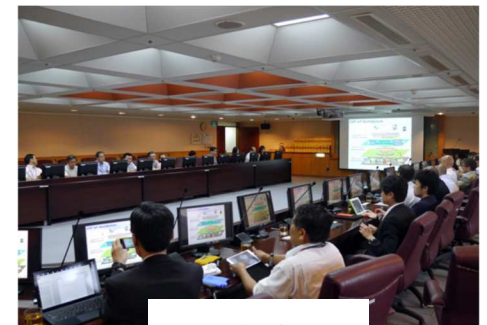


Computex 会場

6月5日(金)

(1) 10:00～11:30 中華電信訪問

台湾を代表する携帯通信企業である中華電信を訪問。中華電信の概要や台湾の携帯事情をお聞きしました。日本と大きく違うと感じたのは携帯電話会社が6社あり、競争がかなり激しいとのこと。また通信量が平均8～9GB/人月と日本の3倍はあり、スマホユーザーの平均利用時間は197分もあることがわかりました。日本以上にスマホ依存度が高いようです。LINEも人口が2200万で1800万人が利用しているなどアプリケーションも一強多弱の傾向がみられます。将来展望としてビッグデータを解析してのIoTや他産業との連携を考えていると説明を受けましたが、携帯会社間の競争が激しすぎてそちらに手が回っていない様子も窺えました。



中華電信

(2) 12:00～13:30 現地駐在員とのランチミーティング

Panasonic、KDDI、ベンチャー企業の総経理である現地駐在員の方をお招きしてのランチミーティング。台湾で苦労した点や成功のポイントなどをお聞きしました。台湾の良い所として、年功は関係ない、スピード感があることを評価しています。反対に緩い所や完成をチェックしないとダメという点に注意を与えています。誰に売るのかというターゲットをしっかりと持たないといけないことを学びました。



ランチミーティング

(3) 18:30～20:30 ANIA関係者と台湾企業懇親会

総勢50名にもなる懇親会。ANIA会員同士や台湾企業との交流を深めました。

ANIAが主催する台湾視察も今年で3回目となりました。毎年多くの会員企業が参加し、各々がビジネスのヒント等を得て頂ければと思います。台湾は食べ物も美味しく、観光地や夜市など楽しい所がたくさんあります。来年も多くの会員企業にご参加頂き、台湾企業との交流を深めてほしいと思います。



ANIA 懇親会

(ANIA事務局 武田雅哉)